



広報

# つがる

2005

11.15

No.19

市の人口と世帯数（平成17年11月1日現在） 人口 40,078人（男 19,236人 / 女 20,842人） 世帯数 13,172世帯



## おいも はやく焼けないかな～

10月27日、柏第1保育所（園児119名）で、園児らがやきいも会を行いました。

この日用意されたさつまいもは25kg。ぬれた新聞紙とアルミホイルで包み、焚き火に投げ入れました。

園児らは、焼けたほくほくのサツマイモを食べ「おいしい、もっと食べたい」とよろこんでいました。

## 主な内容

第1回 つがる市文化祭 .....	2～3
第1回 つがる市伝統芸能フェスタ .....	4
白老町民がリンゴ狩りツアー 青森県不法投棄防止キャンペーン 県立木造高校車力分校で閉校記念式典 成田旧車力村長訃報のお知らせ .....	5
シリーズ 思い出の学舎（兼館・出野里小学校）... 6～7 市民から寄せられた意見・提言をお知らせします 自衛官募集相談員に委嘱状を交付 .....	8
健康推進だより / 成人病センターだより .....	9
街の話題 .....	10～11
お知らせ .....	12～13
除排雪作業にご協力をお願いいたします .....	14

# 文化祭

第1回つがる市文化祭（主催 つがる市文化団体協議会）は10月3日から4日間、生涯学習交流センター「松の館」を主会場に、森田体育センター、柏農村環境改善センター、牛潟公民館、車力農民研修センター、稲垣公民館、稲垣交流センターの7会場で開催されました。

②



蕾の会

## 木造 会場



丸岡流手踊教室



華丘レクダンスサークル



コーラス「華」



国際交流ふれあいコーナー



弥三郎おどり保存会



大正琴 琴友会



### 鈴木健二講演会

11月6日

演題「町は人の心の中から興る」を講演し、市民らおよそ250名が聴講しました。



山百合会



紬の会



藤都流つがる松管会



木造カラオケ教室



柏文化サークル



木造チャーチル会



華道浅草遠州一瀉流



版画サークル



ひばきり絵の会

車力水墨画





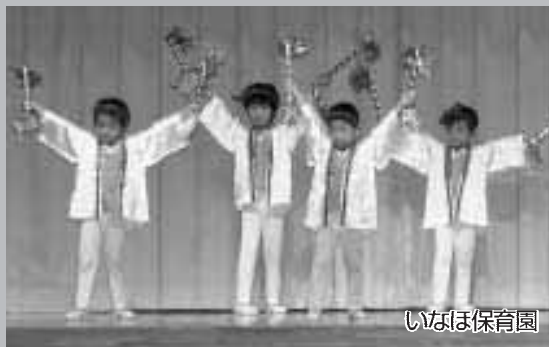
# 第1回 つがる市



繁田保育所



千年保育所



いなほ保育園



森田吟舞



歌謡クラブ



三味線サークル



つがる宝生会



津軽名和会



レクダンス



書道展



## 車力会場



茶道表千家サークル



車力末生流



小原流華道教室



五月会



木造盆栽会



遠州流中村社申



華道車力龍生派



木造写真倶楽部



木造菊花秋宝会



柏文化サークル



森田写真クラブ

## 柏会場

十月二十五日、松の館で、つがる市伝統芸能保存フェスタが開催され五団体が参加しました。



## 伝統芸能フェスタ

登山囃子保存会

### ○つがる市登山囃子保存会

登山囃子は、毎年、旧暦の八月一日に行われる津軽地方最大の秋祭りで、国の重要無形民俗文化財に指定されている伝統行事の「お山参詣」のお囃子で、五穀豊穡と家内安全を祈願し、津軽各地より白装束に身をかためた人々が集まり、「サイギサイギ」というお題目を唱えながら、霊峰岩木山を登ります。下山囃子は、津軽の人々の大切な信仰の山 岩木山を参拝する「お山参詣」で、山頂でのご来光を拝し、下山する時に演奏される囃子です。

### ○弥三郎節保存会

弥三郎節は、津軽地方に伝わる嫁いびりの内容をもった数え唄形式の唄ということで非常に有名な民謡です。文化五年（一八〇八）、旧森田村の下相野の百姓 弥三郎の所に隣村大開の百姓 万九郎の娘が嫁にいきましたが、弥三郎の親の嫁いびりに耐え切れず、ついに離縁することになりました。

その別れの時、思い余って外に放り出された長持に腰をかけて、嫁が恨みをこめて歌ったの



盛 トキワ さん

が、この弥三郎節の由来と云われています。

現在、昔ながらの「正調 弥三郎節」を唄えるのは、盛トキワさん（森田町下相野）で、九十歳になります。

### ○三方荒神鹿島獅子保存会

三方荒神鹿島獅子は、今より二百年以上も前に、鹿島神社前でお神楽を演じたのが始まりと言われている。

鹿と案内する猿が奥山から降りてきて、川に橋を架けて渡り、森に上がって、お宮に参拝して、神社の庭でお神楽をやるという構成になっています。

このような貴重な伝統芸能を受け継いで獅子舞を演じるのは、森田町の育成小学校の生徒の皆さんです。



三方荒神鹿島獅子

### ○ホーハイ節保存会

ホーハイ節は、高い裏声を張

り上げて唄う旧森田村の盆踊り唄です。

日本民謡としては、きわめて特異な発声法で、津軽民謡の中でも異色といわれています。

この唄の由来は、今から四三〇年位前の天正年間、津軽藩の祖 津軽為信公は、今の青森市にある油川城の奥瀬善九郎を攻撃しましたが、この時は城を落とすことができませんでした。

疲労と落胆で重い足取りの兵士は、津軽坂（今の鶴ヶ坂）を越えて帰国できそうもなかったそうです。

その時、為信公が峠の「お玉茶屋」で即席に唄い、士気を鼓舞したのが、この唄の始まりと伝えられています。



ホーハイ節保存会

### ○出野里獅子踊保存会

出野里獅子踊りは、三百二十年以上の歴史があり、一六八〇年代に新田開発のため出野里にやってきた武士たちが、出野里の人々に教えたのが始まりとされています。

この踊りの内容は、三体の鹿

の獅子が、猿の化身である「オガシ」に導かれて橋を渡ります。ところが、雄獅子と中獅子が雌獅子をめぐって激しく争います。やがて、仲直りした三体の獅子たちは、力を合わせて結界をはずし、神聖な世界へと近づいていくという、大変ドラマチックな構成になっています。



出野里獅子踊り

### ○木造甚句保存会

名君と称される四代藩主・津軽信政公が新田開発の拠点として設けた代官所や御飯屋において、二十日盆の時に、松の木の下に陣取った殿様の前で唄い踊って見せたのが、始まりと言われています。



野呂 福次郎 さん



## 県立木造高校車力分校で閉校記念式典



生徒数の減少によって今年度で閉校となる青森県立木造高校車力分校の閉校記念式典が10月15日に車力体育センターで行われました。

車力分校は昭和23年度に定時制として設立し、昭和53年度に全日制課程に移行、現在までの57年の間に938名の卒業生を輩出しました。

昭和53年には全国定時制総体では柔道部が全国制覇、男子ソフトボール部は昭和60年、61年と高校総体県大会2連覇を達成。また平成元年から取り組んだ俳句では全国文芸コンクールで最優秀賞を受賞するなど、輝かしい歴史を刻んできました。

しかし全日制に移行した昭和53年度をピークに年々生徒数が減少し、今年度で閉校が決定、最後の卒業生となる、現在の3年生は9名となっています。

式典では同窓生や旧職員、PTAなど関係者およそ200名が参加、高木校長は「閉校となり寂しいが、卒業生たちがこれからも活躍していくことを願っています」と式辞を述べ、生徒会長の松橋洸君は「自分たちの夢や目標に向かってがんばっていきたい」とあいさつしました。

## 成田旧車力村長訃報のお知らせ

旧車力村の昭和40年から平成17年までの10期40年にわたって車力村長を務め、つがる市誕生にご尽力されました成田佐太郎旧車力村長が、10月22日ご逝去されました。

長年のご功績に対しまして深く感謝を申し上げますとともに、衷心より哀悼の意を表します。

### 主な経歴

昭和40年3月23日から平成17年2月10日まで車力村長10期40年をはじめ、富港農業協同組合組合長、屏風山土地改良区理事長、青森県市町村職員共済組合理事長、青森県市町村税滞納整理組合管理者、青森県町村会会長、西津軽郡町村会会長を歴任しました。

**主な受賞** 平成4年 自治大臣表彰

平成17年 市町村合併功労者総務大臣表彰  
モンゴル国 文化友好功労賞  
青森県褒賞  
従五位（叙位）  
旭日小綬章（叙勲）



## 白老町民がリンゴ狩りツアー

姉妹都市交流の白老町町民ら21名が10月5日、森田町でリンゴ狩りツアーを行い、リンゴの収穫を楽しみました。

このリンゴ狩りツアーは、白老町姉妹都市協会がつがる市との交流事業として行ったもので、福島市長は「津軽のおいしいリンゴを味わってほしい」とあいさつ。その後、森田町の原田元雄さん、原田茂徒治さん、原田繁さんのリンゴ園で赤く色付いたリンゴの収穫を体験しました。



## 青森県不法投棄防止キャンペーン

10月31日、木造の中の川排水路周辺で、弘前環境管理事務所、県産業廃棄物協会西北支部、つがる市不法投棄監視員、西津軽土地改良区の職員らが不法投棄廃棄物の撤去作業を行いました。

これは、平成17年度青森県不法投棄防止キャンペーンによる活動で、不法投棄廃棄物の撤去作業を行うことにより、不法投棄防止に向けた生活環境の保全と県民の意識啓発を図るために実施されたものです。

今回行われた撤去作業では、テレビや冷蔵庫、洗濯機の電化製品や廃タイヤ、ドラム缶などが散乱しており、参加者が分別した後、ダンプカーを利用し、不法投棄のゴミ約60トン撤去しました。

市内には、この他にも数十箇所の不法投棄現場が確認されています。不法投棄廃棄物をいくら撤去しても、市民一人一人の意識改革がなされない事には、不法投棄はなりません。

私たちの市は、私たちできれいにし、不法投棄やポイ捨ては絶対にやめましょう。



平成18年4月に瑞穂小学校が開校することにより3月で閉校となる9校を紹介します。

# 兼館小学校

兼館小学校は明治九年設立しましたが、大正三年の大凶作により廃校となりました。その後、林尋常小学校の分教場となり、昭和十七年に再び単独校となりました。

また昭和五十八年の日本海中部地震では特に大きな被害を受け、教室を移動しての授業をしたり、さまざまな災害等にみまわりました。

学区は兼館・善積・夕日岡からなり、生徒数は昭和三十七年の一四〇名を最高に、年々減少し現在は十六名となっています。



平成11年6月26日 木造町小体連陸上大会



平成11年11月6日  
わら細工体験学習



平成17年9月15日  
今年で29回目を迎えた  
「一人研究発表会」

- 【沿革】
- 明治九年 十月 兼館小学校設立
  - 大正三年 四月 林尋常小学校の分教場
  - 昭和二十二年 四月 兼館小学校と称す
  - 昭和二十六年 全国健康優良校青森県一位
  - 昭和二十八年 十二月 校舎新築落成
  - 昭和四十二年九月 道路愛護の成果が認められ郡道路愛護協会より表彰さ
  - 昭和四十六年九月 こども郵便局郵便局長賞受賞
  - 昭和五十六年 PTAが文部大臣賞受賞
  - 昭和五十八年 日本海中部地震の被害を受ける

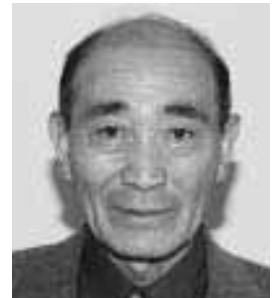
## 校歌

作詞 小野 正文  
作曲 木村 一 繁

ひろやかな みちのくの空  
そびえたつ 岩木の峯よ  
あゝわれらここにうまれて  
大いなる 望みいたかん  
ほこるべし 清きその名の  
兼館小学校  
うつくしき 津軽の稲田  
水ひかる 出瀬のながれ  
あゝわれらここにそだちて  
新らしき 道をひらかん  
ほこるべし 清きその名の  
兼館小学校  
波うたう 日本海よ  
松ならぶ びゅうぶの丘  
あゝわれらここにまなびて  
世につくす 人とよばれん  
ほこるべし 清きその名の  
兼館小学校

## 兼館小学校の思い出

小山内 兼一氏  
(木造兼館)



私が兼館小学校に入  
学したのは太平洋戦争  
真っ只中の昭和17年で  
した。低学年ながら戦  
争は日本が絶対勝つと  
信じ込まされていまし

たが、4年生の時ついに敗戦。アメリカ兵がジープで学校へ乗りつけて、校内に武器が隠されていないかと探し回り銃剣術の訓練に使った物等を持ち去った記憶がかすかに残っています。

敗戦後は食べる物、着る物何でも不足し、つぎあてだらけの服を着て通学したものでした。兼館小学校は各学年が20名前後の生徒がおりましたので全校で約120名位、それが3学級の複式でした。小学校も高学年になると家の仕事の手伝いは当たり前で、さへどりから田植え、稲上げの手伝いまで何でもやらされました。

6年の時、担任だった藤田先生は海軍上がりの厳しい人だったので、随分叱られ、殴られたものでした。クラスの誰か一人が何か不始末をすると、共同の責任だという事で5・6年全員が向かい合って立たされ、お互いの顔を力一杯叩けと命令され、憎くもない相手を最後は力一杯ビンタの張り合いをさせられたこともありました。こんなこわい先生でしたから勉強は皆よくしたものです。

こんな辛い小学校生活でも修学旅行が楽しかったです。5年の時は深浦、6年の時は能代、共に一泊でしたが今でも懐かしく思い出されます。多くの卒業生たちの楽しかった事や苦しかった事など思い出のいっぱい残っている、しかも約130年の歴史ある小学校が時代の流れとはいえ、閉校になるという現実とは地域にとって非常に淋しいことです。とりわけ私にとってはPTA会長時代に新校舎建設に深くかかわった関係上この度の閉校は大変残念で複雑な気持ちでいっぱいです。

さへどり……馬を引いて、耕起する



# 出野里小学校

出野里小学校は明治十二年に創立しましたが、大正二年の大凶作により廃校となりました。その後、林尋常小学校の分校となり、昭和十七年に再び単独校となりました。

地区の伝統芸能である「獅子踊り」を昭和六十一年に復活させ、さまざまなイベントなどで、披露してきました。昭和六十一年から毎年版画カレンダーを制作しています。学区は立花・出野里・芦部岡・出崎からなり、生徒数は昭和三十五年の一八六名を最高に年々減少し、現在は二六名となっています。



昭和60年から  
版画カレンダーの  
製作を始める



平成17年5月22日 親子花植え

## 【沿革】

- 明治十二年 六月  
「出野里小学」として創立
- 昭和十七年 三月  
出野里国民学校と称し、三  
学級編制
- 昭和五十一年 八月  
新校舎新築落成
- 昭和六十三年 二月  
出野里獅子踊り保存会結成
- 平成三年 十月  
全国「よい歯の学校」最優  
秀校（文部大臣賞）となる
- 平成十二年 十一月  
青森県健康推進学校表彰  
優良校に選出

## 校歌

作詞 小野 正文  
作曲 永井 繁

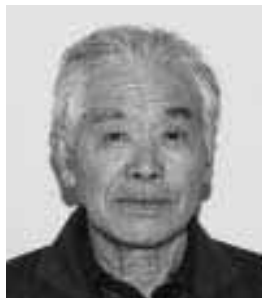
一 花咲きかおる 津磐野を  
しずかに流れる 岩木川  
ああ出野里 わがふるさと  
育つわれらは 未来の子  
胸にはいつでも 夢がある  
緑のわか葉 しげらせて  
太陽あふれる タモの木よ  
ああ出野里 わがふるさと  
育つわれらは 平和の子  
眼はいつでも 澄んでいる  
大青空に くっきりと  
白雪かがやく 岩木山  
ああ出野里 わがふるさと  
育つわれらは 正しい子  
心はいつでも 晴れている



平成17年3月 獅子踊り引き継ぎ式

## 出野里小学校の思い出

白戸 清勝氏  
(木造立花)



私が出野里小学校に入学したのは、昭和5年4月でした。学校には今先生2名と北沢先生の計3名でした。教室は1年と5年生、2年と6年生、3年と4年生の3教室でした。私の同級生は男女計16人でした。その後宮本先生、工藤先生、村上先生になりました。

遠足は1、2年生が豊川の春日神社（稲垣町）3、4年生は五所川原の橋の下（五所川原幹橋）5、6年生は金木公園（芦野公園）でした。一番うれしかったことは6年生の時、弘前公園を見学した時です。とってものしい1日を過ごしたことが思い出されます。

5、6年生の時は農繁期になると、弟たちを学校に連れて勉強しました。また、冬になると、今の三好橋付近（岩木川の堤防の上）から大宅さんまでの間が風がとっても強く、吹雪の日には1年生の児童に腰縄を結びつけ、それを自分の腰に結わえて学校に通った時もありました。今思い出すとつかしい昔話です。

百数十年の伝統と歴史ある母校が廃校になることは時代の流れとはいえ、誠に残念です。

## 市民から寄せられた意見・提言をお知らせします

上半期意見箱への投書件数は37件

4月から開設しました「意見箱」について、6ヶ月間で37件の貴重な意見、提言をいただきました。市民から寄せられた意見・提言は、今後の市政運営の参考とし、実施可能なものから即実施する体制を取っております。これまでに寄せられた主な意見をお知らせいたします。

意見・提言事項	回 答 欄
○職員の窓口対応について(8件)	市民に対する言葉使いを含めた対応は職員の基本であり、接遇研修を実施しながら改善を図ります。
○喫煙、禁煙について(4件)	正面玄関ホールは、全面禁煙場所としました。
○議員数、参与制度について(2件)	新市の建設計画の方向性を確認し、合併時の混乱を避けるために在任特例を適用する事に決定しました。 又、特別参与は市長の特命事項の処理にあたるのが任務だとうご理解下さい。
○粗大ごみ、不法投棄の処理について(2件)	粗大ごみは最終処分場への直接搬入が可能です。新年度から回収の方向で検討中です。又、不法投棄処理に公費をあてることは現段階では難しい状況となっております。
○公用車の処分について	3台は公用車として活用し、2台は公売いたします。
○災害時の避難場所の明示	看板を年度内に設置いたします。
<p><b>*その他</b></p> <p>全フロアーの案内板の設置要望、職員の座席表の表示要望、蓮沼町内の古田川の排水路整備(以上実施済み)図書館の図書数を多くして欲しい、児童館の設置要望、銀杏ヶ丘公園のプールとトイレの整備要望、百円バスの運行希望、市長との対話の機会が欲しいという要望、男女混合型検診の不具合についてのご指摘、木造丸山地区の広報等の回覧方法の検討、市役所庁舎の暑さを解消して欲しいという要望、竹内文庫が活用されていないというご指摘などでした。</p>	

引き続き、市民の皆さんの建設的な提言をお待ちしております。

担当：総務課 内線 349

### 自衛官募集相談員に委嘱状を交付

自衛官を目指す人への情報提供や、相談に応じる自衛官相談員の委嘱状交付式が十月二十五日に行われ、十六名の方に福島市長と自衛隊青森地方連絡部長の連名で委嘱状が交付されました。任期は二年となっています。



福島市長から委嘱状を受け取る相談員

### 【相談員】

三浦孝一(木造蓮川)  
藤本源一(木造兼館)  
長谷川貞三(木造越水)  
對馬則正(木造赤根)  
稲場也勝(木造千代田)  
工藤英勝(木造福原)  
原田義昭(森田町床舞)  
盛田嘉則(森田町中田)  
福田忠光(柏稲盛)  
工藤祐一(柏稲須)  
佐々木啓蔵(稲垣町千年)  
加藤正彦(稲垣町下繁田)  
藤田周三(稲垣町豊川)  
松橋登三(豊富町)  
松橋昇(富范町)  
台丸谷成人(下車力町)



# 健康推進課だより

## 生活習慣病対策その2

### 「運動」

先月号では、「運動の健康効果」、「運動を実際に実施する時のポイント」をテーマとして掲載いたしました。  
今回は、冬期間の運動についてふれたいと思います。

青森県では、雪や寒さの影響もあってか、七割以上の方が週に一回すら運動・スポーツを行わないというデータがあります。健康相談や健診などで「冬になると体重が増える」という方が結構います。冬期間は、寒さと運動不足のため、体重の増加、筋肉が硬く縮み筋肉内の血液循環が悪くなり腰痛や肩こりなど健康障害が起こりやすくなります。



冬期間の代表的な運動として、スキーやスケートがありますが、青森県教育委員会では、体力づくり対策による健康寿命の延伸を目指し「健康雪かき体操」を開発いたしました。



「健康雪かき体操」は、準備体操・整理体操からなっており、雪かき中の狭心症・心筋梗塞・腰痛を起こさないこと、雪かき後の疲労を早期に回復させる効果があります。冬期間にやらなければならぬ雪かきを健康づくり運動として習慣化し、十分な安全対策を講じて行えば心筋梗塞や腰痛の予防につながるだけでなく、持久力と筋力トレーニングとして期待できるとされております。

そこで、市民のみなさんも雪かきをプラス志向に発想を転換させて、冬期間の健康づくり運動

動として雪かき作業に取り入れてみませんか。

健康推進課では、「健康雪かき体操普及講習会」を左記のとおり開催いたします。

### ○日時

#### 一日目

平成十七年十二月九日（金）  
開始 午前十時～

#### 二日目

平成十七年十二月十三日（火）  
開始 午後二時～

#### 三日目

平成十八年一月十日（火）  
開始 午前十時～

### ○場所

松の館交流ホール

### ○対象

二回以上受講できる方

### ○内容

講話「雪かきを効果的な運動にするためには」

講師 県立保健大学健康科学部理学療法学科 三浦 雅史氏

実技「健康雪かき体操」  
講師 AFAA国際エアロビクスインストラクター 成田 寿子氏

### ☆申し込み・問い合わせ

健康推進課 内線 二四一 または、各支所保健師まで

# 成人病センターだより

## カンファレンス・ルームを設置

患者さんやご家族の方へ、治療や手術、病状などの説明を行うためにカンファレンス・ルームを設置いたしました。  
これまで、ナースステーションの中では、他の患者さんの出入等もあり落ち着いて説明を受けられない状況でした。  
これからは、個室の中で、患者さんやご家族の方のプライバシーを保ち、病状などの説明を静かな中で受けることができるようになりました。



患者さんへの説明を行なうカンファレンス・ルーム



移動した面会室

また、カンファレンス・ルームの設置に伴い、面会室を移動いたしました。

従来の面会室より広くなり、家族の方や面会の方々に過ごしやすい環境を作っていくようにします。

現在、改装途中ですので入院患者さん、ご家族、ご面会の方にはご迷惑をおかけいたしますがご了承ください。

☆ご意見・ご要望方は、成人病センターまで。

電話 四二一三二二一

## 読書まつり

10月30日、松の館で、つがる市読書まつりが行われ、ばっけの会(稲垣町)、森田小読み聞かせボランティア、車力村読書サークル、おはなしサークル「おひさま」(木造)が参加し、子ども達による読み聞かせや絵本づくり、なぞなぞ、紙芝居などが披露され会場からたくさんの拍手が送られました。



## タウンミーティング

10月18日、松の館で、市民とつがる市、つがる警察署の対話会「タウンミーティング」が行われ、市民およそ220名が参加して意見を交わしました。

市民からは「事故多発地帯に信号を設置してほしい」「駐在所を存続してほしい」などのさまざまな要望がだされ、警察署の職員は「市民が安心して生活できるように努力します」と答えていました。



## ウォーキングでさわやかな汗

10月18日、ウォーキング教室が開催され、市民ら67名が参加しました。

はじめに講師の成田寿子さん(AFAA国際認定エアロビクスインストラクター)から正しい歩き方の説明を受け、市役所前から森田保育所までの5kmコースとつがる地球村までの8kmコースに分かれて自分のペースで歩きました。初めて参加する人たちもいましたが、無事全員ゴールし、さわやかな汗をかけた後はみんなで楽しく昼食を食べました。



## ざんなん荘で獅子踊りを披露 出野里小学校

10月25日、出野里小学校の児童24名がざんなん荘を慰問し、1・2年生が詩の朗読、3・4年生が出野里獅子踊り、5・6年生がよさこいソーランを披露しました。

出野里小学校の獅子踊りは、明年4月、瑞穂小学校に統合にすることから、今回が最後の慰問になりました。入所者らは、児童の見事な踊りにたくさんの拍手を送っていました。

## 育実幼稚園が市役所を訪問

10月20日、育実幼稚園児約80名が、市内の施設訪問行ないました。

つがる市役所を訪問した園児たちは元気な声で「お仕事がんばってください」と激励し、歌とお花をプレゼントしました。

市長からは「お父さん、お母さん、先生の言うことを良く聞いてください」とお礼のあいさつを述べ、園児たちにプレゼントを贈りました。







### 第2回子牛・育成雌牛品評会

屏風山牧場

10月19日、つがる市屏風山牧場で「第2回子牛・育成雌牛品評会」が行われました。

これは優良牛の地域保留に努め飼養管理の技術向上を図るため行われているもので、畜産農家が手塩にかけて育てた牛23頭を出品、3部門に分かれて審査が行われ、雌子牛の部で鳴海晴雄さん、去勢子牛の部で葛西信廣さん、育成雌牛の部で松橋英樹さんがそれぞれ第1位となりました。

### つがるライオンズクラブ杯学童ソフトボール大会

10月16日、五所川原市克雪ドームで、つがるライオンズクラブ杯学童ソフトボール大会が行われました。

ライオンズクラブが主催で青少年育成事業の一環として毎年行われているこの大会は、つがる市内の小学校17チームが参加しました。

大会は大勢の応援の中、熱戦が繰り広げられ、結果は男子穂波小学校Aチーム、女子は育成小学校が優勝しました。



### 毎月地域奉仕活動

みちのく銀行木造支店

10月27日、みちのく銀行木造支店（支店長 田中誠司）の行員20名が、地域奉仕活動の一環として、木造の中心商店街や沿道の清掃を行いました。

この地域奉仕活動は毎月1回行っているもので、この日は午前7時45分から1時間、道路に落ちている空き缶やビンなどのごみを拾いました。

### イオン柏SCで西つがる大産直市

10月30日、イオン柏ショッピングセンターで、つがる市と鰯ヶ沢町、深浦町の新鮮な農産物や魚介類、加工品などの特産品を一堂に集めた西つがる大産直市が開かれました。

これは西北地方農林水産事務所が、西地方の豊富な物産を消費者に知ってもらい、販売拡大につなげようと思ったもので、つがる市からは農産物や特産のゴボウ麺、しとぎ餅等の加工品が並べられ、多くの市民らが買い求めていました。



### パパも、ママも、気軽に子育てしませんか！

10月23日、松の館で、つがる家族教育推進協議会が子育て講座を行い、市民ら約30名が参加しました。

講座では「こんな子は、あんな子は...?」と題して、櫻庭美術館館長の櫻庭利弘氏が、10人兄弟で育った自分の教育環境などをまじえながら講演し、子どもたちの「のびる力」を引き出すには「子どもと同じ目線」「どうしてあげることがその子に一番いいことなのか」をかね備えた親でありたいと話していました。

# あしらせ

information

## つがる市農業委員会委員一般選挙に係る立候補予定者説明会

農業委員会委員一般選挙立候補予定者説明会を開催します。

日時 平成十七年十二月二日（金）

午後一時三十分～

場所 森田農村環境改善センター  
つがる市森田町上相野若緑六二

平成十八年二月十日任期満了に伴うつがる市農業委員会委員一般選挙の日程  
告示日 平成十八年一月二十二日（日）  
投票日 平成十八年一月二十九日（日）

問い合わせ先

市選挙管理委員会

電話 四二二五四〇

## 市民体育大会参加募集

平成十七年度つがる市民体育大会を開催しますので、多数の参加をお待ちしています。

開催日 平成十七年十二月十八日（日）

参加料 全種目無料

参加申込 参加申込書に記入し申し込み

先まで（申込書は教育委員会に用意、電話での受付はしない）

申込期限 平成十七年十一月三十日厳守

開催時間 各会場午前九時開会式  
開催種目・場所

バレーボール（稲垣体育館）

○チーム編成

- ・監督一名、選手十二名
- ・六人制男女混合チームとする（中学生は適用外とする）

○競技方法

- ・常時二名以上の女子選手が出場
- ・ネットの高さ2m三五
- ・ボールは5号球
- ・平成十七年度日本バレーボール協会六人制規則

○組み合わせ

- ・事務局で責任抽選とします

バドミントン（柏総合体育センター）

○競技種目

- ・中学生の部
- ・一般の部

男子一部、二部（初心者）  
女子一部、二部（初心者）

○競技方法

- ・二名一チームのダブルス戦とし、一般の部のみ男子の部と女子の部に分けて行う
- ・二十一本一セットマッチ

○組み合わせ

- ・事務局に一任させていただきます

卓球（穂波小学校体育館）

○競技種目

●団体戦

- ・一般、学生による一チーム三人編成（三シングルス戦で行う）
- ・男女区別なし

・小学生男子・女子（各学校二チームまで、五シングルスとする）

●個人戦

- ・一般男子、女子（中学生も含む）
- ・小学校男子、女子（四年生以上）
- ・個人戦ダブルス
- ・一般混合（男女区別なし）

○競技方法

- ・現行の日本卓球協会ルールによる

○組み合わせ

- ・事務局に一任させていただきます

バスケットボール（木造中学校体育館）

○チーム編成

- ・選手十名以内

○競技方法

- ・プレーヤー五名のうち女子選手又は男子四十歳以上の選手を常時一名以上出場させること
- ・高校バスケットボール部に所属している選手が同時に出場できるのはプレーヤー五名のうち三名までとする

○組み合わせ

- ・大会当日抽選します

※西北五ナイターバスケットボール大会に出場している選手、高校バスケットボール部に所属している選手には交代で審判をお願いいたします。

申し込み・問い合わせ

市教育委員会 スポーツ健康課

電話 四九一一一九三

## あなたにフィット！ スポレク教室開催

健康づくりにとって、運動習慣を身につけることは、非常に大切なことです。そのきっかけづくりとして、楽しみながら体を動かすことのできるスポーツ・レクリエーション教室を開催します。家族や友達とお誘い合わせのうえ参加してみませんか。

内容 初心者向けのスポーツ・レクリエーション

定員 四十名程度（先着順で定員になり次第締切）

参加料 一回につき百円（保険料等）

開催場所 五所川原市体育館

開催日程

十一月三十日（水）ユニカール  
十二月 一日（木）ソフトバレー  
三日（土）ターゲット・バード

ゴルフ、フライングボール

七日（水）ユニカール

八日（木）インディアアカ

十四日（水）バウンドテニス

二十一日（水）ユニカール

二十二日（木）インディアアカ

開催時間 午後七時～午後九時

（但し、十二月三日は、午後三時～午後五時）

申し込み・問い合わせ

青森県スポーツ・レクリエーション連盟

〒〇三〇一八五四〇

青森市新町二丁目三十一

青森県教育庁スポーツ健康課内

電話 〇一七七一三四九二二一

FAX 〇一七七一三四八二七五



## 平成十七年度排水設備工事 責任技術者・配管工更新講 習と配管工認定講習について

日本下水道協会青森県支部主催の講習を行いますので希望する方は申し込み下さい。

- ▼責任技術者 十八年二月一日(水)  
更新講習 受講料 四千元
- ▼配管工更新 十八年一月三十一日(火)  
講習 受講料 三千元
- ▼配管工認定 十八年一月三十日(月)  
講習 受講料 四千元
- ▼申込書配布 十一月二十二日(火)～  
受付期間 十一月二十八日(月)  
～十二月十五日(木)
- ▼講習会場 プラザマリユウ五所川原

問い合わせ

市役所 下水道課 内線 三七四

## 電話番号の変更について

10月31日より、市教育委員会指導課準備室が、これまでの教育委員会事務室より同所学習室へ移動になりました。また、直通の電話番号が変更になりました。

直通電話番号 42-5532

問い合わせ  
市教育委員会 指導課準備室

## 児童手当の申請は 済みでしたか

### ◆認定請求

◇出生、転入等により新たに受給資格が生じた場合、児童手当を受給するには、市の窓口(公務員の場合は勤務先)に「認定請求書」の提出が必要です。

- 認定請求に必要な添付書類等  
健康保険被保険者証の写し等
- ・請求者が被用者(サラリーマン等)である場合に提出  
児童手当用所得証明書

- ・当該市町村にその年の一月一日に住所しなかった方(一月から五月までの認定請求の場合は、前年の一月一日に住所しなかった方)
- ・請求者の銀行等の口座番号

### ◆支給対象

児童手当は、九歳到達後最初の三月三十一日までの間にある児童(小学校第三学年修了前の児童)を養育している方に支給されます。

ただし、前年(一月から五月までの月分の手当については前々年)の所得が一定額以上の場合には、児童手当等は支給されません。

### ◆支給額

- 第一子 五千元(月額)
- 第二子 五千元(月額)
- 第三子以降 一万元(月額)

### ◆支払時期

児童手当は、原則として、毎年二月、

六月、十月に、それぞれの前月分までが支払われます。

ただし、九歳到達(就学前特例給付終了)で消滅の受給者は、四月に支払われます。

### ◆届出の内容が変わったとき担当窓口まで届け出下さい

- 一、児童手当の額が増額されるとき
- 二、児童手当の額が減額されるとき
- 三、児童手当の支給が終わるとき(児童を養育しなくなったとき)
- 四、特例給付の受給者の方が退職したとき
- 五、受給者が公務員になったとき

### ◆所得制限限度額

所得には一定の控除額があり、また、所得制限の限度額は年によって変更されることがありますので、詳細については、市役所福祉課窓口までお問い合わせください。

問い合わせ

市役所 福祉課 内線 一三九

## 障害児(者)地域療育等の 巡回相談

日時 平成十七年十二月六日(火)  
午前十時～午後三時  
場所 五所川原市中央公民館  
定員 二十名程度  
対象者

(一)主に肢体不自由の障害を有する児童(重複障害児を含む)。集団参加や

定期的な機能訓練の機会に恵まれない児童を優先する。  
(二)定員に余裕があれば、(一)以外の児童や成人も対象とする。

### 担当職員

医師(整形外科)、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、児童指導員  
申し込み方法

電話またはFAXで、相談児童名、生年月日、住所、就学学校名、相談内容等をお知らせ下さい。

申し込み・問い合わせ

県立あすなろ学園

育成指導科 鎌田

〒〇三八一〇〇〇三

青森市石江字江渡二〇一

電話 〇一七七一七八一〇一七四

FAX 〇一七七一七六六一四三九六

## NHKラジオ「真打ち競演」 放送日の変更について

十月一日に行われた、NHKラジオ「真打ち競演」の放送日が変更になりました。

放送予定 ラジオ第一放送

一本目 十二月六日(火)

午後九時五十分～五十五分

二本目 十二月十三日(火)

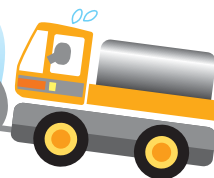
午後九時五十分～五十五分

問い合わせ

NHK青森放送局「真打ち競演」係  
電話 〇一七七一七四一五二二四



# 冬を快適に過ごすために 除排雪作業にご協力をお願いいたします



今年も雪の季節がやってまいります。つがる市では次のとおり今冬の除排雪を計画し、市民生活の安定が図られるよう、努力してまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 市の除排雪業務

市では幹線道路、生活道路などの除雪延長約352kmを直営除雪と民間委託により行います。

除排雪を管理する区域は、これまでの旧町村の区域をそのまま管理することとなりますので、昨年と同様の除排雪体制となります。除排雪業務の実施期間は12月1日から3月31日までとしますが、除排雪実施期間前後であっても、降雪状況により除排雪を実施します。



## 市の除排雪体制

市の除排雪体制は全区域を統括する統轄本部を市役所建設部土木課に設置いたします。

市では、これまでの除排雪体制を維持し、住民サービスを低下させないため、除排雪を管理・管轄する区域を旧町村単位ごととし、市役所、支所にそれぞれ担当課を配置いたします。

除雪パトロールは管轄する区域を担当課がそれぞれ巡回し、雪の状況を随時、的確に判断し効果的な除排雪が実施できるようにします。

民間委託業者の管理区域はこれまで同様、旧町村区域といたします。民間委託業者の管理、指導は市役所、支所がそれぞれ行い適格な除雪作業が行えるよう指導、監督いたします。

管理区域	担	当	課	問い合わせ先
統 轄 本 部	市 役 所	建設部 土木課	道路維持係	TEL 42 - 3221
旧木造区域	市 役 所	建設部 土木課	道路維持係	
旧 柏 区 域	柏 支 所	経 済 建 設 課	土 木 係	TEL 25 - 2111
旧森田区域	森 田 支 所	経 済 建 設 課	土 木 係	TEL 26 - 2111
旧稲垣区域	稲 垣 支 所	経 済 建 設 課	土 木 係	TEL 46 - 2111
旧車力区域	車 力 支 所	経 済 建 設 課	土 木 係	TEL 56 - 2111

## 円滑な除排雪作業のためにご協力を

深夜作業にご理解を

朝の通勤・通学経路、歩行者の安全確保や作業効率などの理由から、除排雪作業は深夜・早朝行います。

路上駐車はやめましょう

路上駐車は除雪作業の妨げとなり、地域全体に迷惑がかかりますのでやめてください。また、事故などでやむを得ず路上に駐車する場合は、目印に赤旗を立てて下さい。

道路に雪を捨てないで下さい

除雪後に残る寄せ雪は各世帯で取り除くようお願いいたします。同様に各家庭の雪を道路に押し出すこともやめて下さい。

通行規制にご協力を

除雪及び排雪作業を迅速かつ安全に進めるため、道路を一時通行止めにする場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。

消流雪溝は正しく利用しましょう

消流雪溝は、住民協力により道路の幅を広げ、地域住民の安全確保のための施設として整備されております。

利用に際しては作業終了時投雪口を必ず閉める等を守っていただき、地域の施設として大切に利用いただきますようお願いいたします。

除雪車が作業中のときは近寄らないようにしましょう

除雪車は重機械であり、前後10m位は死角となります。また、雪の中に混じっている砕石、ガラス等が飛び散る場合もありますので、30m以内に近寄らないようお願いいたします。

